

# 平成22年4月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年9月11日

上場会社名 株式会社ソフトウェア・サービス  
 コード番号 3733 URL <http://www.softs.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理ユニット長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年9月11日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 大

(氏名) 宮崎勝  
 (氏名) 寺本昌弘

TEL 06-6350-7222

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年4月期第1四半期の業績(平成21年5月1日～平成21年7月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年4月期第1四半期	1,649	83.0	207	—	210	—	123	—
21年4月期第1四半期	901	—	△1	—	10	—	3	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年4月期第1四半期	23.00	—
21年4月期第1四半期	0.60	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年4月期第1四半期	6,961	5,875	84.4	1,097.34
21年4月期	7,130	5,974	83.8	1,115.79

(参考) 自己資本 22年4月期第1四半期 5,875百万円 21年4月期 5,974百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年4月期	—	0.00	—	42.00	42.00
22年4月期	—	—	—	—	—
22年4月期 (予想)	—	0.00	—	42.00	42.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年4月期の業績予想(平成21年5月1日～平成22年4月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 累計期間	3,040	38.1	296	8.2	300	14.3	187	60.8	35.06
通期	8,000	53.1	1,603	89.2	1,609	91.5	982	118.2	183.41

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

一部簡便な会計処理を適用しておりますが、重要性が乏しいため注記を省略しております。  
また、四半期財務諸表の作成に特有の会計処理については、該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年4月期第1四半期	5,488,000株	21年4月期	5,488,000株
② 期末自己株式数	22年4月期第1四半期	133,915株	21年4月期	133,915株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年4月期第1四半期	5,354,085株	21年4月期第1四半期	5,405,784株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想には、本資料の発表時現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予測が含まれております。そのため、経済、事業環境の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、金融市場の混乱による世界経済の景気後退には下げ止まりの気配がうかがえるものの、本格的な回復にはいまだ至らず、企業の設備投資意欲も依然として慎重なまま推移しました。医療業界におきましても、特定健診・特定保健指導・診療報酬オンライン請求の義務化、75歳以上の医療保険制度の変更、長期療養病床の削減、社会保険費用の国庫負担額抑制等といった外部状況の変化に加え、医師不足・人材不足による医療提供体制や介護事業縮小の問題等は継続し、経営環境の厳しさは解消され難いものとなっております。

このような中で当社は、ユーザーニーズの確かな反映を目的に、当社システム利用医療機関同士の情報交換の場を積極的に提供してまいりました。特に注目度の高いクリティカルパスにつきましては、「クリティカルパス勉強会」を主催し、平成21年7月4日（15病院・41名）、同年7月18日（16病院・45名）の両日ともに全国より関係者の集う盛況となっております。また同年8月には第3回「SSユーザー看護部会」及び「第5回「SSユーザー会」が開催されるなど、顧客病院との堅固な関係性は当社の強みであり、この継続と顧客満足度の向上に対して今後も真摯に取り組んでまいります。

現況での景気の好転兆候の覚束なさ、及び経営環境の先行き不透明感から、医療機関のシステム投資や設備投資への意欲は縮小状態を維持し、市場における有力ベンダー数社の競争は厳しいものとなっております。しかしながらこの影響下において、当第1四半期累計期間の売上高は1,649百万円（前年同四半期比83.0%増）、受注高は1,449百万円（同129.6%増）、受注残高は1,958百万円（同75.5%増）、利益面におきましては、営業利益207百万円（前年同四半期は営業損失1百万円）、経常利益210百万円（前年同四半期は10百万円）、四半期純利益123百万円（前年同四半期は3百万円）となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産・負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第1四半期会計期間末の総資産につきましては、前事業年度末と比較して169百万円減少し、6,961百万円となりました。主な増減要因は、現金及び預金427百万円の減少、たな卸資産29百万円の減少、及び売上債権323百万円の増加によるものであります。

##### (負債)

当第1四半期会計期間末の負債につきましては、前事業年度末と比較して70百万円減少し、1,086百万円となりました。主な増減要因は、仕入債務143百万円の増加、及び未払法人税等206百万円の減少によるものであります。

##### (純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末と比較して98百万円減少し、5,875百万円となりました。主な増減要因は、四半期純利益123百万円及び第40期利益剰余金の配当金224百万円によるものであります。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ427百万円減少し、1,503百万円となりました。

当第1四半期累計期間末における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、214百万円（前年同四半期は83百万円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期純利益210百万円、たな卸資産減少額29百万円、仕入債務増加額143百万円、売上債権増加額323百万円、法人税等の支払額270百万円によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、4百万円（前年同四半期は119百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出4百万円によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、208百万円（前年同四半期は209百万円の支出）となりました。これは配当金の支払額208百万円によるものであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年4月期の業績予想につきましては、平成21年6月12日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

### 4. その他

#### (1) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準の変更)

受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準については、従来、検収基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を当第1四半期会計期間より適用し、当第1四半期会計期間に着手した受注契約から、進捗部分について成果の確実性が認められる受注契約(収益総額、原価総額及び決算日における進捗度を信頼性をもって見積ることができる受注契約)については進行基準(進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の受注契約については検収基準を適用することとしております。

なお、この変更に伴う売上高及び損益への影響はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年7月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,503,612	1,931,461
売掛金	1,499,794	1,175,795
商品	53,071	166,770
仕掛品	152,981	68,801
その他	73,276	72,310
貸倒引当金	△7,553	△7,217
流動資産合計	3,275,182	3,407,922
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,467,626	1,499,865
構築物（純額）	23,223	23,826
工具、器具及び備品（純額）	135,117	137,378
土地	1,629,652	1,629,652
有形固定資産合計	3,255,619	3,290,723
無形固定資産	10,500	7,866
投資その他の資産		
投資有価証券	262,886	257,233
関係会社株式	20,000	20,000
その他	137,248	147,035
投資その他の資産合計	420,134	424,268
固定資産合計	3,686,254	3,722,858
資産合計	6,961,437	7,130,781
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	424,797	281,312
未払法人税等	72,717	278,983
前受金	373,794	396,746
その他	214,849	199,703
流動負債合計	1,086,159	1,156,746
負債合計	1,086,159	1,156,746
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	847,400	847,400
資本剰余金	1,010,800	1,010,800
利益剰余金	4,170,233	4,271,974
自己株式	△137,233	△137,233
株主資本合計	5,891,199	5,992,940
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△15,922	△18,905
評価・換算差額等合計	△15,922	△18,905
純資産合計	5,875,277	5,974,035
負債純資産合計	6,961,437	7,130,781

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年7月31日)
売上高	901,190	1,649,620
売上原価	688,399	1,245,018
売上総利益	212,791	404,601
販売費及び一般管理費	214,020	196,998
営業利益又は営業損失(△)	△1,229	207,603
営業外収益		
受取利息	110	473
受取配当金	4,061	1,026
投資有価証券評価益	3,770	630
その他	4,118	1,153
営業外収益合計	12,060	3,283
経常利益	10,831	210,887
特別利益		
貸倒引当金戻入額	310	—
特別利益合計	310	—
特別損失		
固定資産除却損	—	52
投資有価証券評価損	3,159	—
特別損失合計	3,159	52
税引前四半期純利益	7,981	210,834
法人税、住民税及び事業税	1,564	69,382
法人税等調整額	3,174	18,322
法人税等合計	4,738	87,704
四半期純利益	3,242	123,130

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成20年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	7,981	210,834
減価償却費	53,639	45,219
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△310	335
受取利息及び受取配当金	△4,171	△1,499
投資有価証券評価損益 (△は益)	△610	△630
固定資産除却損	—	52
売上債権の増減額 (△は増加)	314,456	△323,998
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△152,366	29,519
仕入債務の増減額 (△は減少)	68,657	143,484
未払消費税等の増減額 (△は減少)	20,024	△21,892
前受金の増減額 (△は減少)	57,201	△22,951
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	5,391	13,293
その他	11,646	△16,840
小計	381,541	54,925
利息及び配当金の受取額	4,251	1,525
法人税等の支払額	△302,632	△270,806
営業活動によるキャッシュ・フロー	83,160	△214,355
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△119,863	△4,892
無形固定資産の取得による支出	△349	—
短期貸付金の回収による収入	249	308
投資活動によるキャッシュ・フロー	△119,963	△4,584
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△58	—
配当金の支払額	△209,430	△208,908
財務活動によるキャッシュ・フロー	△209,489	△208,908
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△246,292	△427,848
現金及び現金同等物の期首残高	1,746,326	1,931,461
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,500,034	1,503,612

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 6. その他の情報

(生産、受注及び販売の状況)

### (1) ハードウェア仕入実績

ハードウェアの仕入実績を示すと、次のとおりであります。

種類別	当第1四半期会計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)	前年同四半期比 (%)
ハードウェア (千円)	493,629	219.0
合計 (千円)	493,629	219.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### (2) 受注実績

受注実績を種類別に示すと、次のとおりであります。

種類別	受注高		受注残高	
	当第1四半期会計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)	前年同四半期比 (%)	当第1四半期会計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア (千円)	1,021,000	206.5	1,249,154	162.1
ハードウェア (千円)	428,000	313.6	709,196	205.2
合計 (千円)	1,449,000	229.6	1,958,350	175.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### (3) 販売実績

販売実績を種類別に示すと、次のとおりであります。

種類別	当第1四半期会計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア (千円)	591,163	138.0
ハードウェア (千円)	665,327	502.9
保守サービス (千円)	393,128	115.4
合計 (千円)	1,649,620	183.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 前第1四半期会計期間及び当第1四半期会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第1四半期会計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成20年7月31日)		当第1四半期会計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
社会保険紀南病院	—	—	598,255	36.3

3. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。